

### 3 学期始業式「未来への挑戦」 1/8

3 学期が始まりました。感染症の拡大による緊急事態宣言が出されたため、オンラインでの始業式となってしまいました。それでも、こうして3 学期の初日を迎え、元気な皆さんと会うことができ、とても嬉しく思います。今年も、「一人に一つの命」を大切するとともに、一人一人が「すべての命を守る」行動をして、楽しく充実した毎日を過ごしてほしいと思います。

感染拡大を防ぐために、これまでも全国で様々な努力をしています。たとえば、お正月の箱根駅伝では、「応援したいから、応援に行かない」というキャッチコピーで応援自粛を呼び掛けていました。その意味はわかりますか。「応援したい」は、選手に箱根を走ってほしいという応援する気持ちです。「応援に行かない」というのは、行ったら感染症が拡大して選手が走れなくなってしまうという、これも選手を応援する気持ちです。選手を「応援したい」という気持ちを「応援に行かない」という行動で示しているのです。

しかしながら、18 万人もの人が沿道に出たそうです。この人たちは選手のためではなく、自分が応援したいという自己満足のために行動を抑えられないのだと思います。このような身勝手な行動がなくならない限り、感染症の拡大は止まらないのです。

たとえば、緊急事態宣言が出され、各地で成人式が中止となりました。式典後に新成人らが会食するなどのリスクを避けられないというのが主な理由のようです。一方で、私たちの昭島市では、感染予防策を一層強化して実施するそうです。このことを、皆さんはどう思いますか。私は、昭島市の素晴らしい英断だと思います。中止にする勇気も必要ですが、何でも中止にしてしまうのも浅はかです。

成人式は、門出を祝うとともに、新成人が「社会の一員として責任を誓う」大切な機会です。新成人が集うことで感染リスクが高まるのではなく、感染防止を無視して、マスクを外して大きな声で会話したり、式典後に会食したりするから危険なのです。

「すべての人の命を守る」責任ある行動ができると、昭島市が新成人のみなさんを信用しているから開催できるです。そこには、新成人のみなさんが昭島市の人々の行動の模範となり、誇りとなってほしいという願いが込められているのかもしれませんが。ある意味、昭島市の未来をかけた挑戦なのかなと思います。

このことは、皆さんも同じです。皆さん一人一人の行動が、富士見丘小学校の今を、そして未来を担っています。3 ヶ月後、皆さんはひとつずつ学年が上がり、6 年生は卒業です。その時を、胸を張って、誇らしく迎えられるよう、悔いのない毎日を過ごしてください。